

# 男性の育休・子育て応援セミナー【盛岡市】

総事業費	130 千円
交付金額	65 千円

## 地域の実情と課題

- 実情（女性の就業・雇用）**
  - ・第3次産業従事者が8割超（女性は「医療・介護、卸売・小売業、宿泊飲食サービス」の順に多く従事）
  - ・女性の労働力率は約50%で、全国平均50%とほぼ同じ傾向
  - ・女性の管理的職業従事者割合は17.6%で、全国平均約15%より高い傾向
- 課題（企業アンケートより）**
  - ・女性活躍推進における自社の課題の上位2項目「多様な人材の能力を生かす管理職マネジメント支援」「女性の意識改革・キャリア支援」

## 事業の特徴

- 事業内容について**

男性が育児や家庭へ参画することについて、女性の就労が進むといったジェンダー平等の視点だけではなく、男性自身、さらに社会的なメリットにもつながることを啓発し、家庭参画に前向きな男性を支援すること、またそうした風土の社会的な醸成を図るため、公開の講演会を実施した。
- 関係団体などの連携方法について**

地域の経済団体に後援を要請して事業の広報や波及効果につなげるとともに、事業報告により情報共有を図った。また、本市と包括連携協定を結ぶ民間事業者に広報協力を依頼した。

## 事業の効果

- ・目標として設定した参加者数20名を上回り、64名の参加があった。
- ・講演内容について「とても興味深かった」もしくは「興味深かった」と回答した参加者が全体で97%だったことから、事業効果は高かった。
- ・開催後アンケートにおいて、本事業の目的である「男性の家庭参画を進めることの必要性」について全ての参加者が「とても感じた」もしくは「感じた」と回答したことから、意識の啓発につながった。

## 目的・目標

- 女性をはじめ多様な人材が活躍できる職場づくりをあらゆる面から支援するため、市内企業の要望が高い「女性の人材育成（女性社員対象）」「多様な人材の能力を生かすマネジメント支援（経営者管理職対象）」を行うほか、男性や若年女性など働く女性だけに限らない事業アプローチを図る。
- <数値目標>
- 女性活躍推進事業参加者の意識や取組意欲の変容度  
目標値 90% → 実績値 97%（達成）

## 連携団体

- 経済団体・関係団体・大学等との連携**

盛岡商工会議所、盛岡工業クラブ、（一社）盛岡青年会議所、岩手県中小企業家同友会、（一社）岩手経済同友会、NPO法人ファザリング・ジャパン東北、もりおか女性センター
- 連携地方公共団体との連携**

盛岡広域7市町（八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、矢巾町、紫波町）

## 今後の課題

- 継続実施に向けた他団体との連携**

他団体との共同開催による経費などの合理化を行うとともに、継続開催に向けた調整が必要。
- 参加者数の維持・向上に向けた方策**

令和4年度に初めて実施したため講演内容を概要的なものとしたが、5年度以降はテーマを絞るなど、内容、主な対象者などを検討する必要がある。

# 事業の概要

## 男性の育休・子育て応援セミナー ～笑いながら学ぶこれからの仕事と家族のカたち～

日時：2022年10月7日（金）13：30～15：50

会場：プラザおでって3階 おでってホール

対象：育休を取得中・予定の男性、職場の上司や同僚（64名）

内容：男性が家事育児に参画することは、ジェンダー平等の推進につながるだけでなく、男性自身、さらに社会的なメリットにもつながることを啓発し、前向きな男性の支援、そうした風土の社会的な醸成を図った。

効果：多くの参加があり、97%が講演内容を評価したほか、参加の全員が「男性の家庭参画を進める必要性を感じた」と回答したことから、実施効果は高かった。

### セミナーの内容

講師：東京大学大学院 総合文化研究科 教授 瀬地山 角 氏

内容：日本の男性が家事にあたる時間は、女性と比較して圧倒的に少ないことを紹介し、男性が1日3時間でも家事にあたることで女性の正規雇用が進み、世帯収入の倍増とリスク分散、少子化対策、自死、過労死の防止など様々な波及メリットが得られることを啓発した。

#### 〈参加者の感想、印象に残った言葉など〉

- ・忌引きと同様に夫の産休、育休も取れるような職場になることが理想だと思った。
- ・職場においてエースの登板過多を避け、二番手、三番手を育てる姿勢が必要だと感じた。
- ・男女共同参画については、女性の人権という観点からのアプローチが多い印象だったが、各世帯の経済的な合理性からの説明を聞くのは初めてで、印象的だった。統計値など客観的事実に基づく科学的な内容で説得力があり、さすが大学教授と感じた。
- ・家事・育児をしない人物が採用されやすい→家事・育児をしない職場ができあがる→家事・育児をしない社会になる＝さらに少子化が進む。という流れが分かった。
- ・「育休を取得する前に何をするか事前に夫婦で役割を決めておく。」というのを聞いて自分もそのようにすればよかったと思いました。
- ・育児休暇等、制度自体はしっかり整備されているので、それを活かしていくことが大事だと感じた。

笑いながら学ぶ！  
これからの仕事と  
家族のカたち。

これらの男性が子育てと家庭での役割とは？  
従来のジェンダー論的視座による、育児や家事への考え方が変わる  
と期待でも、期待を待たないで、役割の再見直しはもたらさず、その上  
期待の方向転換しておくべき要請が求められます。



### 男性の 育休・子育て 応援セミナー

入場無料

日程 令和4年  
10/7(金)  
13:30～15:30  
(13:00開場)

会場 プラザおでって  
(おでってホール)  
盛岡市中ノ廣通1-10

定員 150名 (先着順)



1987年2月の子ども保護政策を  
一歩に押し、今年も目的の学際性  
を担うジェンダー論的研究を、  
学際性・学際性・学際性・学際性  
の「日本列島」(世界・地域社会)  
の英文生100人へのアンケートで  
東京大学の国際化推進に貢献した  
ジェンダー論の講義は毎年500人以上で  
らる。MPOとの連携により、  
講演の運営にも参加。国際機関の  
東京大学大学院  
総合文化研究科教授

【申込方法】  
当日参加も可能ですが、定員がござい  
ますのでお申し込みは  
おすめいたします。  
お申し込みは「申込書(別紙あり)」  
を印刷し、下記問合せ先  
までお送りください。

【問合せ先】  
盛岡市市民啓発センター  
電話：018-826-7575  
E-Mail: ds@city.morioka.iwate.jp

主催：盛岡市《市民啓発センター・もりおか女性センター》  
後援：八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町、盛岡商工会議所、盛岡工業クラブ、岩手県中小企業家同友会、  
（一社）岩手経済同友会、（一社）盛岡青年会議所、（一社）岩手県経営者協会、（特非）ファザリング・ジャパン東北  
特定非営利活動法人ファザリングジャパン東北

◇主催 盛岡市（市民部市民協働推進課男女共同参画推進室、もりおか女性センター）

◇後援 八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町、盛岡商工会議所、盛岡工業クラブ、岩手県中小企業家同友会、  
（一社）岩手経済同友会、（一社）盛岡青年会議所、（一社）岩手県経営者協会、（特非）ファザリング・ジャパン東北